

# 平成30年度 学校評価本評価集計結果

評価項目 1	年間を通して研究授業を行い、また生徒による授業評価を年2回実施して、職員の授業改善に活かす。
評価項目 1	各教科で生徒の実態に即して、年間指導計画、評価規準、シラバスの作成・改善を行う。
評価項目 2	少人数授業、IT授業などを積極的に取り入れて、生徒の興味・関心・実態に応じた授業を行う。
評価項目 2	週末課題等の適切な課題や朝の小テストを通して、家庭学習時間の平均1時間以上を達成する。
評価項目 3	生徒の希望進路の実現を目指した教育課程の編成を行う。
評価項目 3	学校設定科目、ディスカバリー科目について、生徒のニーズに応じて適宜見直しを図る。
評価項目 4	年3回以上の生徒面談を行い、拡大学年会で共通認識を深め、生徒個々に応じた生徒指導を行う。
評価項目 4	各学期ごとに学校生活に関する意識調査を行い、生徒の悩みや不安を早期発見し、生徒の内面理解に努める。
評価項目 5	全職員による一致した指導体制をつくるために、生徒指導の職員研修を行う。
評価項目 5	特別指導を反省指導だけでなく、生徒の更なる成長の機会として全職員で指導していく。
評価項目 6	警察、補導センター、補導委員会等との連携を緊密にして、得られた情報が生徒指導に活かせるようにする。
評価項目 6	関係諸機関と連携し、またその支援を得て講演会等を開催し、安全な生活が維持できるようにする。
評価項目 7	進路ガイダンスを各学年の実態に応じて各学期ごとに実施し、望ましい勤労観・職業観の育成を図る。
評価項目 7	進路面談を1学年から計画的に実施し、面接指導やマナー指導を繰り返し行う。
評価項目 8	年間を通してマナトレ、模擬試験等を計画的に実施し、学力の伸長度を確認させる。
評価項目 8	体験学習、インターンシップ等に生徒を積極的に参加させ、自己理解を深めさせる。
評価項目 9	企業訪問や大学見学会、オープンキャンパス等への生徒の積極的参加を促す。
評価項目 9	各種資格・検定試験を早期より積極的に受験させ、進路意識の高揚を図る。
評価項目 10	学校のホームページを週1回以上（月4回以上）更新し、ディスカバリー新聞を迅速に配付する。
評価項目 10	オープンスクールや学校説明会等で、中学生に本校の魅力を発信する。
評価項目 11	就業体験、地域とともに心を育てる会、介護福祉施設等での活動に全職員で取り組む。
評価項目 11	地域と連携して、地域主催行事への積極的協力体制をつくる。
評価項目 12	体育祭や文化祭において、PTA会員にとどまらず地域の方々を広く招待する。
評価項目 12	PTAの諸事業の実施に当たり、成功に向けて全職員が全面的に協力する。
評価項目 12	学校の諸問題について、各部主催による校内研修会を必要に応じ適宜実施する。
評価項目 13	校外研修等で得られた成果を校内研修会や職員会議で報告し、教育活動に活かせるように全職員に還元する。
評価項目 14	教育活動全般をおとて、人権尊重の精神を育てるとともに、いじめ等に対する対応をしっかりと行う。
評価項目 14	人権教育に関する職員研修を実施し、正しい認識と理解を深めて指導力の向上を図り、職員の人権感覚を高める。
評価項目 15	学校評価結果を各部・学年で検証し、適宜取組について評価・見直しを行うことにより、次年度へ反映させる。
評価項目 15	教育活動が円滑に展開できる、機能しやすい分掌・委員会組織をつくる。

※平成31年2月実施

